

日本ボーイスカウト宮城県連盟 創立70周年記念

県キャンポリー

第6回北海道・東北ブロックキャンポリー プレ大会

## 基本実施要項



期 日 2019年8月9日(金)～12日(月)

場 所 宮 城 県 松 島 自 然 の 家

## 第1章 開催趣旨

2019年は、日本ボーイスカウト宮城県連盟が創立してから70周年目の記念の年に当たります。本県連盟は、この機会を県連盟スカウティングの友情結束と向上発展への契機とし、さらには県内スカウトと地域青少年との交流を図りながら野外活動を満喫することを目的とし、「県キャンポリー」を開催することといたしました。また、2021年に担当県連盟として開催する「第6回北海道・東北キャンポリー」の準備段階にも入りました。

本県連盟は、この二つの大きな大会の成功に向け、下記に示す内容を基本に開催準備を進めてまいります。

30年以上にわたり宮城県のスカウト減少は歯止めが掛からず、ここ十数年の多種多様なアクションプランを起こすも、県内スカウティングにとっては低迷を続ける状況です。

また、現代社会状況も刻一刻と変化しており、数十年前から行なっている大会内容・運営もだんだん厳しくなり、開催場所の確保も容易ではない状況です。

そのような中で本大会は、現状で最大限に成果・効果の上がる方法を模索しながら、今後の各種大会開催のひとつの礎として提起いたします。

その第一は、BVS～RSのスカウト全員が一堂に会する大会を開催することです。これまでの県大会及びブロック野営大会は、主にボーイ年代以上を対象としたスキルの集大成と友情を育むような野営大会で、それに参加できることのステータスと目標として捉えている時代もありましたが、その方式はNSJ・WSJへの参加目標に据えろとし、今回は県連盟全スカウトが参加者の一員として大会に参加し、挑戦し、友情と仲間づくりの中からスカウティングスピリットと情熱を盛り上げていこうという挑戦です、

第二は、全ての運営は業務的人数のくくりを行なうのではなく、原隊の活動とプログラムを原点に進めて行こうというものです。与えられたプログラムに参加・挑戦するだけではなく、各隊が自ら大会プログラムを活用して、PDCAを実践し大会を作り上げていきましょう。

本大会では、各隊個々の通常活動では準備が容易でない期間設定や環境設定、プログラム等を地域や使用施設と共に準備し、班・隊活動を重点に支援していきます。

第三は、地域社会や地域自然と融合した活動をしていきましょう。このことは青少年育成には不可欠であることは勿論のこと、スカウティングの将来へ向けた活動にとって重要なことです。

第四は、日本ボーイスカウト宮城県連盟の一員としての名誉と誇りを胸に、野外活動を楽しみ達成感と満足感を味わいましょう。

以上の四つの大きな柱はスカウティングの原点を省みると共に、各団や各隊、スカウト個々人の純正なスカウト活動とスカウティングの将来に向けた活動となるでしょう。

折しも2019年は、日本の元号が変わる元年の年に当たります。

ボーイスカウト宮城県連盟は、県キャンポリー開催に向けた活動の活発化と大会の成功を目標に一丸となって挑み、宮城県連盟スカウティングのV字回復を目指しましょう。

そして、来たる2021年の「第6回北海道・東北キャンポリー」の開催成功に向け、十分な検証をおこない、準備しましょう。

## 第2章 名称・テーマ

- 1 名称 日本ボーイスカウト宮城県連盟 創立70周年記念 キャンボリー  
(第6回北海道・東北ブロックキャンボリー プレ大会)
- 2 略称 県 キャンボリー (〇〇元年 県大会)
- 3 テーマ 「新時代の幕開け スカウティングの挑戦」

## 第3章 会場及び会期

- 1 会場 宮城県松島自然の家
- 2 期間 2019年8月9日(金)～12日(月)
- 3 開場及び閉場  
開場 8月9日(金) 10:00  
閉場 8月12日(月) 14:00

## 第4章 主催・後援・支援

- 1 主催 日本ボーイスカウト宮城県連盟
- 2 後援 宮城県(予定)・宮城県教育委員会(予定)
- 3 支援 宮城県松島自然の家

## 第5章 参加資格

ボーイスカウト宮城県連盟の加盟員及びボーイスカウト年代の県内青少年の一定条件の公募による一般参加者とする。

### 1 ボーイスカウト宮城県連盟加盟員

#### (1) ビーバースカウト

ビーバースカウト参加隊により提示され、大会本部から承認を受けた日程のプログラム参加とする。(一日、日帰り)

#### (2) カブスカウト

①カブスカウト参加隊により提示され、大会本部から承認を受けた日程のプログラム参加とする。(日程は基本日程の中で、各隊で自由に計画)

②舎営を原則とし、舎営場所については参加隊で準備する。

#### (3) ボーイスカウト

会期中の日程に耐えうる体力を有すること。

#### (4) ベンチャースカウト及びローバースカウト

①自ら進んで大会運営と活動に奉任意欲のある者。(大会本部要員)

(本部奉仕活動が主な業務であるが、プログラムに参加するスケジュールを設ける。)

②団内役務に於ける、各隊指導者。

(5) 指導者

- ①大会期間中参加所属隊と行動を共にする者。
- ②大会役員または大会奉仕者として委嘱された者。(大会本部員)
- ③大会実行委員会から要請された各分野の専門家。
- ④その他、大会実行委員会が必要と認めた者。

※大会運営上、大会本部員(大会役員・大会奉仕者)については、通常予定申込よりも早期に募集または要請依頼し、予定申込に反映していただきます。

2 一般参加者

- (1) ボーイスカウト年代(小学5年生～小学6年生)の一般参加者及び保護者の参加も歓迎する。
- (2) 一般参加者の公募人数は12人を限度とし、保護者はその枠には含まない。
- (3) ボーイスカウトと同じ日程での参加とし、基本実施要項を準用する。
- (4) 会期中の日程に耐えうる体力を有すること。
- (5) 野営場所については、大会本部が指定をする。
- (6) 野営テント、食材等は大会本部が準備し、個人装備のみでの参加とする。  
(「一般参加者 参加要項」を参照)
- (7) スカウト指導者が支援をする。

## 第6章 参加費(2018年時での概算)

1 参加費

(1) ボーイスカウト加盟員

①ビーバースカウト		2,000円
②カブスカウト		2,000円
③ボーイスカウト		5,500円
④ベンチャー・ローバースカウト	①大会本部員	10,000円
	②ボーイ隊指導者	5,500円
⑤ボーイ隊隊指導者		5,500円

※原隊と行動を共にするビーバー隊及びカブ隊の指導者は、スカウトと同料金とする。

⑥大会本部員		10,000円
--------	--	---------

(2) 一般参加者		10,000円
-----------	--	---------

2 参加費は、次の費用に充当する。

(1) ボーイスカウト加盟員

- ①参加章及びプログラム資材等の費用
- ②会場設備及び運営に要する費用
- ③期間中の救護衛生に関する費用
- ④その他

※ 各隊の献立及び必要な食材は、各隊において準備するものとする。

- ⑤大会本部員、及びベンチャー・ローバースカウトの大会本部員は、上記（１）に加え、  
8月8日（事前準備夕食）～8月12日昼食までの配給食事費用
- （２）一般参加者
  - ①8月9日の夕食から8月12日の昼食までの配給食材費（事前に献立を提示し、食材を配給します）
  - ②参加章及びプログラム資材等の費用
  - ③会場設備及び運営に要する費用
  - ④期間中の救護衛生に関する費用
  - ⑤傷害保険費用
  - ⑥その他
- 3 選択プログラムでの地域活動プログラムへの参加費は実費とする。
- 4 参加費の納入
  - （１）スカウト関係者の参加費は、予定申し込みと同時に予納金を、確定申し込みと同時に残金を、各地区経由で納入する。
  - （２）一般参加者の参加費は、申し込みと同時にボーイスカウト宮城県連盟事務局に納入する。
  - （３）納入した参加費は、大会本部の承認を得て他の参加者に振り替えることは出来るが、払い戻しはしない。  
ただし、一般参加者については、7月1日以降7月31日を期限に不参加の場合、参加費の半額を返金する。それ以降の払い戻しはしない。

## 第7章 参加申込

- 1 ボーイスカウト加盟員
  - （１）参加予定申込
    - 各地区は、参加予定者を参加団ごとに次の項目により整理し取りまとめ、参加者一名につき1,000円の参加予納金を添え、2019年4月25日までに宮城県連盟事務局に納入する。
      - ①各団からの大会本部要員人員と名簿
      - ②各参加隊別スカウト及び指導者の参加予定人員
      - ③参加者の輸送方法
      - ④参加予納金
  - （２）参加確定申込
    - ①配布する所定の確定申込書に必要事項を記入し、参加費の残金を添えて、各地区を通じて2019年6月30日までに宮城県連盟事務局に納入する。
    - ②確定申込書は3通作成し、2通は参加隊（控え、参加時提出用）、1通を宮城県連盟事務局に提出する。
    - ③参加時提出用は、参加隊到着時に大会受付に提出すること。
  - （３）プログラム実施計画書
    - 参加各隊（BVS～BS）は確定申込と同時に、地区コミッショナーの承認を得た参加期

間全日程のプログラム実施計画書を提出する。(提出までに地区コミッショナーから十分な支援を受けて下さい。)

## 2 一般参加者の参加申込

- (1) 一般参加者の予定申込は行ないません。確定申込とします。
- (2) 配布する所定の申込用紙に必要事項を記入し、参加費を添えて2019年6月30日までに宮城県連盟事務局に納入するものとします。

## 3 参加承認

- (1) 大会事務局では確定申し込みを受けた後、各参加隊に参加承認書、参加章その他の必要物品を各地区事務局経由で配布する。
- (2) 一般参加者には、申し込みを受けた後参加承認書、参加章その他の必要物品を大会事務局より直接送付する。

## 4 振込先

参加予納金、参加費の振込先は、別途県連盟事務局より案内をする。

# 第8章 入退場及び到着手続

## 1 ボーイスカウト参加隊の入退場

- (1) ビーバースカウト及びカブスカウトの各参加隊は、確定申込時に事前申告をした日時点で入退場の諸手続きを行なう。
- (2) ボーイスカウトの各参加隊は、8月9日(金)正午までに会場に到着し、諸手続きを済ませ、開会式までに基本的設営を完了させる。
- (3) ボーイスカウト隊の撤営は、8月12日(月)の午前中に行ない、閉会式終了後大会本部が行なう点検を受けた後、順次退場する。

## 2 一般参加者の入退場

- (1) 一般参加者は、8月9日(金)13:30から14:00までの間に到着しオリエンテーションを受け、開会式までに設営を完了させる。
- (2) 一般参加者の撤営は、8月12日(月)の午前中に行ない、順次大会本部が行なう点検を受け昼食、閉会式に臨み、閉会式終了後退場する。

## 3 本部要員の入退場

本部要員の入退場については、奉仕部署ごとに別途定める。

## 4 到着手続

各参加隊及び一般参加者は、大会本部受付で所定の到着手続を行なう。

- (1) 各参加隊の到着手続は、参加承認書を提示し、参加者名簿(確定申込副本提出用)、健康調査書(副本)を提出し、実参加人数を照合し参加証を受ける。
- (2) 一般参加者は、参加承認書を提示し、健康調査書(副本)を提出する。
- (3) 本部要員の到着手続については別途定める。

## 第9章 参加章・完修章及び入場許可証

### 1 参加章

- (1) 全ての参加者に、参加章を事前配布する。
- (2) ボーイスカウト加盟員は、参加章を所定の位置に着用する。
- (3) 一般参加者は、大会キャップ（参加章縫製済み配布）をもって、参加章とする。

### 2 大会期間全日程に参加したスカウトに対し、大会本部より完修章（コンプリート アワード）を授与する。

### 3 入場許可証

一般見学入場者は大いに歓迎し、受付にて入場許可証を発行する。

## 第10章 服装 及び 携行品

### 1 スカウト加盟員の服装

- (1) 参加者の服装は、日本連盟の教育規程に準ずる。
- (2) ネッカチーフは自隊のものを着用する（2018年現在の指定）。（大会のネッカチーフ製作については検討中）
- (3) 全体行事中、開会式・宗教儀礼、閉会式は正装で参加する。
- (4) 参加者は、会場内及び場外プログラム参加中は、常にネッカチーフと活動帽及びネームプレートを着用する。ただし、自隊サイト内及び作業に従事する場合はその限りでない。

### 2 一般参加者の服装

- (1) 一般参加者の服装は、健康安全に留意した野営生活・活動に相応しい服装とする。
- (2) 一般参加者は、会場内及び場外プログラム参加中は、大会キャップ及びネームプレートを常に着用する。ただし、野営サイト内及び作業に従事する場合はその限りでない。

### 3 携行品と装備

#### (1) ボーイスカウト加盟員

##### ①個人装備

- スカウト加盟登録証、健康保険証（コピー可）
- それぞれの隊の参加ガイドブックを参考に準備のこと
- ボーイスカウトの装備は野営基準により準備のこと
- その他、隊により指示された物

##### ②隊装備

- 参加承認書、参加確定申込書副本、健康調査書（各個人分）
- 国旗、隊旗
- テント、フライシート、工具・炊具一式、その他野営生活に必要なもの
- 全期間分の食材

(2) 一般参加者

①参加承認書、健康調査書

②個人野営装備品（参加ガイドブック参照）

※食材及び野営用具一式については、大会本部で準備する。

## 第 11 章 組織と運営

### 1 ボーイスカウト加盟員参加隊編成

(1) ビーバーからボーイまでの全ての参加隊の構成は、原隊の組織で参加することを原則とする。

(2) 参加隊には、スカウトを託するに足る指導者が必ず同行する。

(3) ベンチャースカウト、ローバースカウトの大会本部員として奉仕するスカウトについては、県連盟で混成隊とし野营地等の生活をおこなう。

(4) 原隊指導者としてのベンチャースカウト、ローバースカウトは、原隊と行動を共にする。

(5) 各団ベンチャー隊、ローバー隊の指導者は、BVS～BS の参加隊指導者を除き、大会本部員として、各部署での奉仕に就く。

### 2 一般参加者

(1) 一般参加者の編成は、6人を1個班として標準とし、2個班を上限とし編成する。

(2) 一般参加者の班には、大会本部から支援要員を派遣する。

### 3 野营地

(1) 野营地は、ボーイスカウト参加隊、ベンチャー・ローバー混成隊、一般参加者、大会本部地域に大別する。

(2) 野营地は、「施設管理・地域連携 部長」がこれを統括する。

(3) 運営系統は、大会本部組織表を基に各参加隊へ通達される。

### 4 大会本部

(1) 本大会の成果を十分にあげるために大会本部を設ける。（付記1 大会本部組織図）

(2) 大会本部はこの大会に奉仕する指導者・関係者をもって構成する。

(3) 大会本部の各種会議は、大会本部会議・隊長会議等とする。なお、会議の構成と運営については別に定める。

(4) 大会本部の任務

①大会の重要事項の協議決定

②大会期間中の安全管理

③不測の事態における指揮・命令

④各部・各班の連絡調整

⑤施設管理・野营地管理

⑥配給業務

⑦参加隊への諸連絡・支援



⑧隊長会議の開催と要望の反映

⑨全体行事の主宰と各プログラム全般への協力・支援

⑩その他重要事項

## 5 大会事務局

- (1) 総務部を統括し、大会までの庶務、及び大会実行委員会で運営する予算を管理する。
- (2) 渉外に関すること。主に後援者、支援者との連絡調整、および借用品・レンタル品に関する契約調整。県連盟事務局にて運営する。
- (3) 気象・災害に関することをはじめとする、あらゆる情報収集。
- (4) 完修章（コンプリート アワード）の企画・発給。
- (5) その他、各部各班に属さない事項。

## 6 運営本部長

大会運営を総括し、大会本部会議及び隊長会議を主宰する運営本部長を置く。

## 7 各班の業務

運営本部及び大会事務局各班は以下の業務を行う。

### (1) 参加隊班

ビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊、ベンチャー・ローバースカウト、大会本部要員等、スカウト関係者の全ての入退場を管理する。

### (2) 見学者班

- ①一般見学者及びスカウト関係見学者の入退場を管理する。
- ②案内、来賓、接待等の庶務関係を担当する。
- ③一般参加者の入退場を管理する。

### (3) 安全管理班

- ①安全・救護・衛生に関する全ての事項。
- ②特に本部救護所の運営と参加者の健康管理、会場内公共施設と公共設備の衛生管理に関する事項。

### (4) 広報・記録班

- ①本大会の広報・記録・宣伝に関する業務。
- ②一般参加者公募に関する全ての業務。

### (5) 輸送班

- ①全参加者の輸送に関する計画・管理。
- ②バス運行に関する計画・調整。
- ③駐車場管理、および車両運行に関する全ての業務。

### (6) 施設・野営管理班

- ①設営（地割含む）・撤営及び野営生活指導と管理に関する事項。
- ②塵芥の処理管理、場内外の警備等に関する事項。
- ③施設利用に関する事項と、使用管理。
- ④場内駐車場及び車両乗り入れに関する事項と、使用管理。
- ⑤浴場設置及び使用に関する事項と、使用管理。

(7) 資材班

- ①場内の幕・のぼり・旗・案内板・掲示板他、大会関係ツールの設置・管理・撤収。
- ②開閉会式場の設営及び管理。
- ③大集会・大営火会場の設営及び管理。
- ④炊事燃料に関する事項。
- ⑤その他、資材全般に関する事項。

(8) 食材・給食班

- ①大会本部食堂の運営と管理、及び献立に関する事項。
- ②一般参加者への食材の手配と配給、及び献立に関する事項。
- ③参加隊の事前申し込みによる食材の手配と配給。

(9) 地域連携班

- ①場外案内関係。
- ②地域住民への広報・調整及び善処策の実施。
- ③選択プログラム班との協働による、場外プログラムにおける支援。

(10) 一般参加者班

- ①一般参加者に対する全ての支援。
- ②一般参加者のグループへ、指導者の派遣。

(11) 選択プログラム班

- ①選択プログラムの調整と運営に関する全ての事項。
- ②プログラム参加の認定に関する事項。

(12) 全体行事班

- ①開会式・閉会式・大集会・宗教儀礼・大営火の企画立案と、実施運営に関する事項。
- ②大会本部の朝礼の企画と運営。
- ③中央広場の国旗の掲揚と降納。
- ④国旗・県連盟旗・大会旗等の旗管理。

## 第12章 大会の日程と活動

### 1 日程編成

- (1) 大会日程は付記2の通りとする。
- (2) 大会の活動は、全体行事と選択プログラム（付記3）及び参加隊プログラムに分け、場内及び場外の自然・景観・施設を生かしたプログラムを設定する。
- (3) 全体行事は開会式・閉会式・宗教儀礼・大集会・大営火とし、全体行事班が企画・運営をする。
- (4) 選択プログラムは、選択プログラム班が企画・調整をし、運営の中心となり参加隊指導者と共に実施する。
- (5) 選択プログラムは、参加隊指導者の指導のもと、すべて事前申し込みにより参加展開を行なう。
- (6) 全体行事・選択プログラムの詳細については、参加ガイドブックによる。

(7) 参加隊プログラムは、全体行事及び選択プログラム実施時間外において、自由に各隊が企画・運営・実施を行なう。

(8) 朝礼・スカウト オウン サービスは、参加隊において企画・実施する。

## 2 ボーイスカウト各部門の参加日程

(1) ビーバースカウト隊は、大会日程中の1日を参加実施日として各隊で自由に日程・入退場時間を決め、事前登録をして参加する。

(2) カブスカウト隊は、大会日程中の1日から4日を参加実施日として各隊で自由に日程・入退場時間を決め、事前登録をして参加する。

(3) ボーイスカウト隊は、全期間参加を原則とする。但し遅参早退については、隊指導者の管理責任のもと実施可能とするが、調整変更の結果を必ず大会本部参加隊班へ報告し、許可を得る。

(4) 本部員としてのベンチャースカウト、ローバースカウトは全期間参加を原則とするが、確定申し込み時において期間限定も可能とする。参加期間中、選択プログラムへの参加時間を設定する。

## 3 国旗掲揚ならびに降納

(1) 国旗掲揚は次の要領で行なう。

①参加隊は、8時30分からそれぞれの場所で朝礼を実施し国旗掲揚を行なう。

②大会本部は、8時30分から中央広場（開閉会式会場）にて朝礼を実施し国旗掲揚を行なう。

(2) 国旗降納は次の要領で行なう。

①17時55分 それぞれの掲揚場は、国旗降納の準備をする。

②18時00分 中央広場の合図に合わせ一斉に降納する。

③国旗降納時の号笛は、中央広場のみでの合図とする。

④国旗降納時は、全員作業を中止しその場で各掲揚の国旗、または中央広場の国旗に正対し敬礼をする。

⑤一般参加者も作業を中止し、中央広場の国旗に正対する。

## 第13章 食事と配給

1 ボーイスカウト参加隊の献立と食材の準備は、各隊で企画・準備することを原則とする。

2 一部の食材は、事前申込リストにより、実費で大会本部から配給する。

（肉・卵・牛乳・氷等、夏場の保存が難しいもの及び弁当など）

3 炊事は、野外炊飯施設で行なう（配給薪による）。

4 野営サイトでのカセットコンロ、ガス・ガソリンストーブの使用は可とする。

5 ボーイの参加隊は、野外炊飯施設で食事をする。

6 ビーバー・カブ参加隊の食事場所は、会場内又はプログラム実施状況で、隊指導者の指示に従う。

- 7 参加隊指導者の食事の場所は、参加隊スカウトと同じとする。
- 8 大会本部員としてのベンチャースカウト・ローバースカウトは、本部食堂での給食とする。  
(サイト内でのストーブの使用は可とする。)
- 9 大会本部員は、本部食堂での給食とする。
- 10 一般参加者は、食材を支給し野外炊飯施設での自炊とする。(本部員が支援する。)
- 11 ビーバースカウト・カブスカウトの参加隊は、事前申込による昼食(弁当又は施設昼食メニュー)を実費にて予約することができる。また、事前申し出により野外炊飯施設の利用も可であるが、申し込み状況により大会本部の調整を必要とし、許可された場合施設使用料実費及び食材の持ち込みを必要とする。

## 第14章 大会本部が準備する諸施設

### 1 野営地

参加隊の地割、本部用地他全ての区割りは、施設・野営管理班で行なう。

### 2 施設

#### (1) 大会本部施設

本部要員宿泊テント、大会本部テント、受付テント。

#### (2) 施設設備

- ①会場内通路
- ②運動場(中央広場)開会式、閉会式、大集会に使用
- ③運動場(各種プログラム広場)
- ④営火場
- ⑤駐車場
- ⑥野外炊飯棟
- ⑦野外炊飯棟ホール(大会本部エリア、各種会議エリア、本部食堂)
- ⑧トイレ
- ⑨ゴミ集積所
- ⑩管理棟 創作室 (救護所として使用)
- ⑪付帯設備(大会本部準備)
  - 開会式・全体行事の照明
  - 音響PA設備
  - 国旗掲揚ポール、県連盟旗用掲揚ポール。
  - 掲示板
  - 大会本部と各班との連絡用通信設備

## 第15章 安全管理

- 1 すべての大会参加者は、快適な野外活動と野営生活を過ごすとともに、キャンポリーを心

- に残る思い出とするためには、事故発生の防止に努めなければならない。
- 2 指導者は、野営生活・キャンプ活動を通して、安全指導・安全管理について常に万全の配慮をしなければならない。
  - 3 参加スカウトは、ほんの少しの気のゆるみが、取り返しのつかない事故につながるおそれがあることを忘れず、定められたルールを厳守しなければならない。
  - 4 大会本部は「安全管理班」に安全管理者を設置し、野営場内の安全管理についての確認と指導を行なう。
  - 5 場外におけるプログラムについては、担当本部員と引率指導者が責任を持って十分に安全管理に努める。

## 第16章 健康及び救護衛生

### 1 救護所

参加者の救護に万全を期すために、次の救護所の設置と医療施設の準備をする。

#### (1) 本部救護所

※救護所処置の範囲

救護所では、医療専門家の判断によって治療できる患者の初期治療を扱う。それ以上の傷病については、医療専門家の判断によって処置・手配を決定する。

#### (2) 施設が委託している、近距離の医療機関を確保。

### 2 個人衛生

(1) 参加者は、隊長の指導のもとに保健衛生に十分留意する。

(2) 一般参加者は、本部支援員の指導のもとに保健衛生に十分留意する。

※健康管理については、参加者自身の自覚が必要である。

### 3 環境衛生

(1) 野外炊飯棟、水飲み場、トイレその他共同施設の利用は、使用者が汚さないよう、清潔に保つよう留意する。

(2) 参加隊は、「安全管理班」の指導のもと、共同施設の環境衛生を保全するための清掃奉仕を輪番で行なう。

(3) 共同施設の環境衛生についての点検は、「安全管理班」が行なう。

## 第17章 規制事項

- 1 大会期間中は、すべての車両は施設駐車場に駐車する。(駐車許可証を事前に発行する。)
- 2 駐車場の管理、緊急車両、報道機関車両等については、「輸送班」が担当し管理・規制する。
- 3 プログラム参加以外での会場からの外出は原則として禁止する。緊急やむを得ない場合には、大会本部から「外出許可証」の交付を受けて外出する。
- 4 発電機の使用は禁止する。
- 5 直火による焚き火は禁止する。
- 6 会場の入退場、場外プログラム参加以外の個人の出入りについては、必ず受付の許可を必

要とする。

- 7 使用施設（松島自然の家）の規則として、21時30分ゲート施錠。22時消灯となる。
- 8 その他、大会本部からの指導・指示は厳守すること。

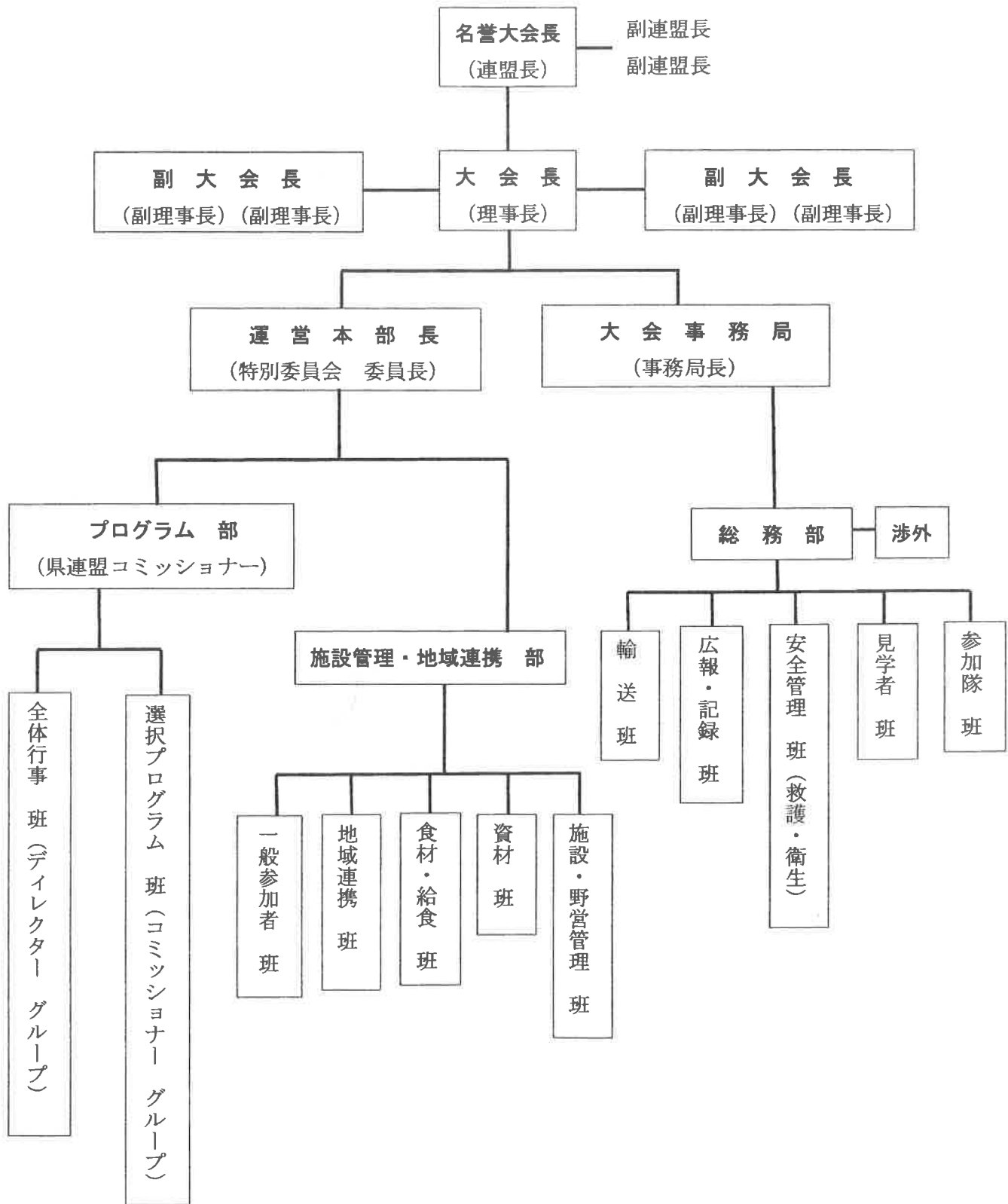
## 第18章 留意事項

- 1 大会期間中は、一般の来訪者が入場することから、常に礼儀をわきまスマートネスに心がける。
- 2 塵芥の処理
  - (1) ゴミは、指定通りの分別をする。
  - (2) 一般ゴミや不燃物は、本部が指定する時間に指定場所に集積する。
- 3 野営地について
  - (1) 立木の伐採は禁止する。（野営地は、特別景観地区に指定されている。）
  - (2) 焼却灰をはじめとする、全ての地中埋設は禁止する。
  - (3) 炊事等をはじめとする全ての汚水は指定された場所・方法にて廃棄し、地中浸透廃棄は禁止する。
  - (4) 設営のために掘り起こした穴、ペグ跡などは、撤営時に完全に埋戻し原型に復すること。（感謝のみを残す）
  - (5) 自然状況として、カラス被害・蛇・蚊の発生が有りますので、十分考慮のこと。

## 第19章 その他

- 1 プログラム参加等については、「ガイドブック」を作成する。
- 2 「一般参加者 参加要項」を作成する。

# 大会本部組織表



## 大会日程表（基本日程）

	8月9日（金）	8月10日（土）	8月11日（日）	8月12日（月）
		起床 朝食	起床 朝食	起床 朝食
8:00		点検	点検	点検
8:30		朝礼	朝礼	朝礼
9:00			宗教儀礼	
		選択プログラム (地域プログラム)	選択プログラム (地域プログラム)	徹営
	(10:00) 入場 受付 設営 (参加隊 プログラム)			
13:00		選択プログラム (地域プログラム)	選択プログラム (地域プログラム)	閉会式
				退場
	炊事 夕食	炊事 夕食	炊事 夕食	
18:00				
19:00	開会式	大集会	大営火	
21:00	隊長会議	隊長会議	隊長会議	
22:00	消灯	消灯	消灯	



# 選択プログラム

No.	プログラム名	場内	場外	実施場所	移動方法	所用時間	人数制限	参加料金	備考	本部要員有無	移動
1	宮城オムレ「奥松島コース」		○	セルホームあおなみ	巡回バス	4h	適宜		韓国発祥のトレッキングコース 全行程完歩で10km(※コース変更可) HP全確認	○ S地点のみ	バス乗車
2	ウォークラリー		○	コース設置・案内	会場発	3h	適宜		宮古島内のウォークラリーを楽しみます。	× 隊指導者	事前案内(出入受付)
3	防災ウォークラリー		○	コース設置・案内	会場発	3h	適宜	100	チェックポイントにある問題を解きながら被災地域を歩き、防災について学ぶ。	× 隊指導者	事前案内(出入受付)
4	サイクリング		○	コース案内	会場発	2h~	50	100	レンタサイクルによりオフロードを含むサイクリングコース (身長130cm以上)	× 隊指導者	コース案内内(○自転車貸出)
5	いかだ遊び		○	大浜	巡回バス	3h	40	700	グループごとにかいこだを作成し、乗って遊ぶ	○	バス乗車
6	シーカヤック体験		○	大浜	巡回バス	3h	20	900	基本操作からミニリングまで楽しみます。 大浜からスタート	○	バス乗車
7	ディスプレイセンター 見学		○	東松島町小野	巡回バス	1h	適宜	大人300	日本初の科学地球儀映像	×	バス乗車
8	宮古の歴史学習		○	縄文村歴史資料館	巡回バス	1h	適宜	150	里浜貝塚から出土した遺跡の見学	×	バス乗車
9	勾玉づくり		○	縄文村歴史資料館	巡回バス	1h	40	400	滑石をやすりで削って勾玉を作る。	×	バス乗車
10	縄文土器づくり		○	縄文村歴史資料館	巡回バス	1h	50	600	粘土をこね縄文土器を作り、乾燥させ、野焼きする。	×	バス乗車
11	貝殻・流木アート		○	所に確認	巡回バス	2h	40	520	貝殻や流木を使った作品作り。	○	バス乗車
12	簡単ピザづくり		○	自然の家		3h	80	300	ダッチオーブで2度焼きして仕上げる。	○	
13	非常時の日用品活用		○	自然の家		2h	100		牛乳パックやレジ袋等を利用した工作活動。	○	
14	マイ箸づくり		○	自然の家		2h	30		小刀で竹を削り、箸を作る。	○	
15	空き缶ランタン		○	自然の家		1.5h	60	80	空き缶でランタンを作ります。*空き缶準備	○	

## \*各隊自主プログラム(案)

	場内	場外	実施場所	移動方法	所用時間	人数制限	参加料金	備考
海水浴		○	所に確認後指定	各隊	適宜	適宜		月浜海水浴場での海水浴
サンドアート		○	所に確認後指定	各隊	1.5	適宜		海岸(砂浜)の砂で、造形活動を体験する。
貝殻拾い		○	所に確認後指定	各隊	適宜	適宜		いろいろな貝殻を収集します。
自然観察		○	適宜	各隊	適宜	適宜		草花や野鳥の観察及び砂浜を散策する。

※ BVS~RSまで隊の日程に合わせ、上記項目からプログラムを選択しエントリーします。

※1. ボーイ参加隊における選択プログラムは、上記19項目から最大4項目を選ぶことができます。

※2. 各隊または各班で協議し、選択プログラム参加2日間の、独自の活動プログラムを作成しましょう。

※3. プログラム申し込みは、人数に関係なく班単位です。班で話し合い希望を決定し、班員全員の人数で申し込みましょう。

※4. 一般参加者については個人申し込みにし、プログラム参加時は一般参加者の同一参加班をつくるか、少人数の場合は参加隊の班へ混成で活動します。

※5. 人数制限は、1回あたりの制限ですので、最大は制限人数×4回となります。

※6. 人数調整により、第1希望時間に組み込まない場合があります。

※7. 所要時間はプログラム実施時間で、移動その他で時間は加算されます。

※8. 予定申込状況により、希望少人数プログラムは、要相談の場合があります。

※9. 空き時間は、隊や班でのプログラムや、野営生活改善や楽しみ等に活用します。

※10. 所要時間及び人数制限の無いプログラムは、各隊の判断により当日の空き時間を利用した参加も、選択プログラム班に申請し、場合により可能です。

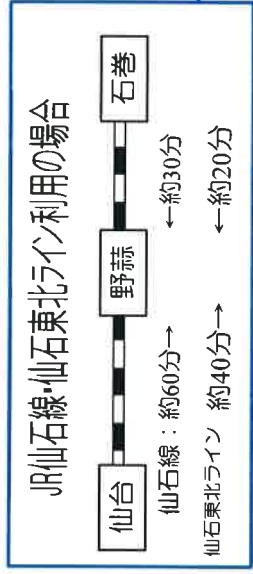
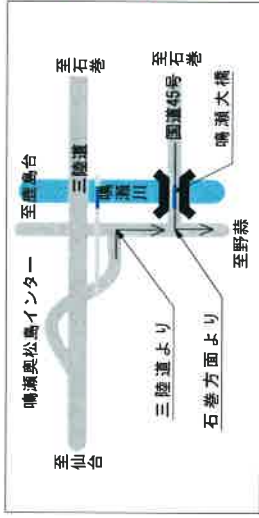
※11. 詳細については、ガイドブックに記載します。

# 宮城県松島自然の家野外活動フィールド案内図

Miyagi Prefecture Matsushima Nature Retreat Outdoor Field Map



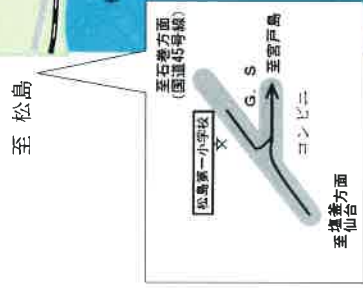
# 宮城県松島自然の家までの案内図



野蒜駅より  
約7km  
タクシーで約10分  
徒歩で約80分



○箇所拡大図



松島町内  
一の坊前を  
通る場合

注 橋

